



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年8月13日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 雅信
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部課長 (氏名) 蜂須賀 伸子 (TEL) 06-6120-2001
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,781	7.5	24	28.8	56	5.0	39	△29.2
30年3月期第1四半期	1,657	5.0	19	△64.3	54	△23.6	56	△10.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
31年3月期第1四半期	6.39		—					
30年3月期第1四半期	9.02		—					

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行なっております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたものと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	5,275	2,521	47.8
30年3月期	5,566	2,597	46.7

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 2,521百万円 30年3月期 2,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	4.4	20	81.8	100	3.1	80	3.4	12.90
通期	7,000	2.0	40	5.3	180	3.4	150	1.3	24.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務情報及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年3月期1Q	6,228,039株	30年3月期	6,228,039株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

31年3月期1Q	12,535株	30年3月期	12,443株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年3月期1Q	6,215,553株	30年3月期1Q	6,216,548株
----------	------------	----------	------------

(注) 当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数 (自己株を含む)」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成30年4月1日～平成30年6月30日)におけるわが国経済は、穏やかな回復基調が続いております。しかしながら、原油高による原材料費の高騰や米国に端を発する貿易摩擦問題などがあり、景気の先行き不透明感が払拭できない状況にあります。

当第1四半期累計期間(平成30年4月1日～平成30年6月30日)における当社の業績につきましては、営業収入は活発な荷動きを受け、堅調に推移しております。それに伴い、原価率の上昇はあるものの、営業利益、経常利益は前年同四半期累計期間比で増益となりました。

投資有価証券売却益が3,439千円(前年同四半期累計期間比△9,123千円)、法人税等が23,696千円(前年同四半期累計期間比9,076千円)で、四半期純利益は減益となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における営業収入は1,781,833千円で、前年同四半期累計期間と比べ124,073千円(7.5%)の増収となりました。営業利益は24,657千円で、前年同四半期累計期間と比べ5,513千円(28.8%)の増益、経常利益は56,927千円で、前年同四半期累計期間と比べ2,721千円(5.0%)の増益となりました。また、四半期純利益は39,699千円となり、前年同四半期累計期間と比べ16,388千円(29.2%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましても、営業収入は堅調に推移したものの、人件費を含めた原価率の増加等により前年同四半期累計期間比減益となりました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は1,715,473千円で、前年同四半期累計期間と比べ122,620千円(7.7%)の増収となり、全セグメントの96.3%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は108,326千円で、前年同四半期累計期間と比べ4,340千円(3.9%)の減益となりました。

② 自動車運送事業

当セグメントにおきましては、回復傾向にあります。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は64,932千円で、前年同四半期累計期間と比べ1,425千円(2.2%)の増収となり、全セグメントの3.6%を占めております。

セグメント損失(営業損失)は3,416千円で、前年同四半期累計期間と比べ8,274千円(前年同四半期累計期間は11,691千円の損失)損失額の減少となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、荷動きの増加に伴い海上保険収入が伸びました。

この結果、営業収入は1,427千円で、前年同四半期累計期間と比べ27千円(2.0%)の増収となり、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は1,410千円で、前年同四半期累計期間と比べ31千円(2.3%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より248,299千円減少して2,839,633千円となりました。これは現金及び預金の減少211,359千円、営業未収入金の減少79,039円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より41,537千円減少して2,433,662千円となりました。これは建物(純額)の減少3,491千円、のれんの減少6,982千円、投資有価証券の減少46,503千円等によるものであります。

繰延資産は、前事業年度末より686千円減少して2,641千円となりました。これは社債発行費の減少によるものであります。

流動負債は、前事業年度末より55,969千円減少して1,613,669千円となりました。これは1年返済内予定の長期借入金41,109千円、未払法人税等の減少37,978千円、賞与引当金の減少32,340千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より158,913千円減少して1,140,766千円となりました。これは長期借入金の減少144,817千円、社債の減少17,750千円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末より75,639千円減少して2,521,501千円となりました。これは一部の保有株式の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少53,144千円、配当による利益剰余金の減少22,457千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、平成30年5月14日の「平成30年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を変更しておりません。

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,816,745	1,605,386
受取手形	3,182	2,850
営業未収入金	831,736	752,697
立替金	395,427	416,047
その他	45,687	65,937
貸倒引当金	△4,848	△3,285
流動資産合計	3,087,932	2,839,633
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	144,362	140,871
構築物(純額)	3,258	3,185
機械及び装置(純額)	2,050	1,982
車両運搬具(純額)	66,866	82,497
工具、器具及び備品(純額)	11,638	10,581
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	30,025	31,259
有形固定資産合計	834,385	846,561
無形固定資産		
のれん	251,379	244,396
その他	80,277	76,433
無形固定資産合計	331,656	320,829
投資その他の資産		
投資有価証券	916,338	869,835
繰延税金資産	22,320	22,320
差入保証金	99,102	96,033
その他	545,714	547,885
貸倒引当金	△274,317	△269,804
投資その他の資産合計	1,309,158	1,266,271
固定資産合計	2,475,199	2,433,662
繰延資産		
社債発行費	3,328	2,641
繰延資産合計	3,328	2,641
資産合計	5,566,460	5,275,937

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	40,093	46,671
営業未払金	601,481	561,986
1年内償還予定の社債	101,800	101,800
1年内返済予定の長期借入金	681,012	639,903
未払金	76,537	114,968
未払法人税等	65,187	27,208
賞与引当金	43,680	11,340
その他	59,847	109,791
流動負債合計	1,669,638	1,613,669
固定負債		
社債	73,400	55,650
長期借入金	983,749	838,932
退職給付引当金	197,109	198,451
その他	45,421	47,733
固定負債合計	1,299,679	1,140,766
負債合計	2,969,318	2,754,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
資本剰余金合計	52,473	52,473
利益剰余金		
利益準備金	6,216	12,432
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	344,725	316,053
利益剰余金合計	350,942	328,485
自己株式	△11,621	△11,659
株主資本合計	2,786,193	2,763,698
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△189,051	△242,196
評価・換算差額等合計	△189,051	△242,196
純資産合計	2,597,141	2,521,501
負債純資産合計	5,566,460	5,275,937

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
営業収入	1,657,760	1,781,833
営業原価	1,548,405	1,668,506
営業総利益	109,355	113,326
販売費及び一般管理費	90,210	88,668
営業利益	19,144	24,657
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	11,495	13,968
受取家賃	19,416	18,109
受取手数料	5,635	2,430
雑収入	13,103	9,838
営業外収益合計	49,656	44,353
営業外費用		
支払利息	5,394	4,077
支払手数料	4,509	1,956
社債発行費償却	909	686
賃貸費用	3,016	2,980
雑損失	765	2,382
営業外費用合計	14,595	12,083
経常利益	54,205	56,927
特別利益		
固定資産売却益	3,940	3,666
投資有価証券売却益	12,562	3,439
特別利益合計	16,503	7,105
特別損失		
投資有価証券評価損	—	636
特別損失合計	—	636
税引前四半期純利益	70,708	63,396
法人税、住民税及び事業税	14,620	23,696
法人税等合計	14,620	23,696
四半期純利益	56,087	39,699

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。